

在籍型出向制度に関するセミナーの実施状況について

令和3年6月24日
広島県商工労働局雇用労働政策課

1 目的

新型コロナウイルス感染症の影響等により一時的に雇用過剰となった企業と、人手不足企業の間で、在籍型出向制度の活用を促進するため、出向マッチングを支援している公益財団法人産業雇用安定センター（以下、「産業雇用安定センター」という。）と連携し、企業の身近な相談役である商工会議所の経営指導員を対象としたセミナーを開催し、在籍型出向制度や具体的な企業ニーズを産業雇用安定センターの支援に円滑に繋ぐための情報周知を図る。

2 セミナー実施状況

- 4か所実施，経営指導員 38名参加（全商工会議所経営指導員の47.5%）
- アンケート結果（活用を勧める81.6%）

＜セミナー実施先＞

実施日	実施先	参加者数
令和2年9月8日	広島商工会議所	19名
令和2年11月13日	呉商工会議所	9名
令和2年11月17日	三次商工会議所	4名
令和2年12月22日	東広島商工会議所	6名
合計	4か所	38名

3 その他の取組

- セミナー資料配付による周知（廿日市商工会議所）
- 広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会における第2回人材マッチング部会社会福祉協議会にて周知
- 県ホームページやメールマガジンを活用した制度等周知

4 今後の予定

- 未周知の商工会議所等への周知活動を実施
- 出向受入れニーズを掘り起こし産業雇用安定センターへ情報提供（新型コロナ離職者等向けの求人開拓に併せて出向受入れニーズ収集）